

平成24年度 関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会・全国大会予選

＝高等学校 男子の部＝

主催：関東高等学校ゴルフ連盟・スポーツニッポン新聞社

開催日：平成24年12月26日（水）・27日（木）

開催コース：一の宮カントリー倶楽部・西コース

競技規則

競技の条件

1, ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2, 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3, 競技方法と取得権利

2日間36ホールストロークプレーとする。本大会の40位タイまでの選手には、平成25年3月27日～29日（3日目は60位タイでカットオフ）瀬田ゴルフコース（滋賀県）において開催される「文部科学大臣権争奪平成24年度（第33回）全国高等学校ゴルフ選手権春季大会」の出場資格を得る。ただし、悪天候その他の場合により、18ホール終了をもって競技成立とすることがある。

4, プレーオフ

所定の競技を終了後、第1位がタイの場合は、委員会の定めるホールにおいてサドンデスのプレーオフを行う。ただし、日照時間の関係で、全組のホールアウトを待たずにはじめることがある。

5, 使用球

競技者の使用球は日本ゴルフ協会発行の最新の公認球リストに記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格とする。

6, ドライビングクラブ

競技者がラウンド中に持ち運ぶドライバーはR&Aルールズリミテッドの発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が掲載されているクラブヘッド（モデルやロフトによって識別される）を有していなければならない。

「最新の適合ドライバーヘッド」とは、競技が開催される週の火曜日にR&Aのホームページ上に掲載されているリストとする。

7, ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は次のホールに要したストローク数に2打を加えるものとする。（最終ホールにおいてはそのホールに2打を加える。）

8, プレーの一時中止

①通常のプレーの一時中止（落雷等の危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則6-8b及びcに従って処置すること。

②危険を伴う気象状況（雷等）のため委員会の決定によりプレーが一時中止となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいた時は、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。この条件の違反の罰は、競技失格（ゴルフ規則6-8b注）とする。

③プレーの一時中止と再開の合図について

通常のプレー中止：サイレン1回、危険を伴う気象状況のための即時プレー中止：サイレン1回とアナウンス

プレーの再開：アナウンス及び競技委員の指示

以上全て、競技委員の指示による。

ローカルルール

1, アウトオブバウンズの境界線は白杭をもって表示する。

2, 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を表示する。

3, コース内の池は全てラテラルウォーターハザードとし、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。岸の一部をなす杭はコースの不可分の構築物とする。（ハザードをつくる人工物は自然物とみなす。）

4, 排水溝は動かさない障害物とする。

5, 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にとまって

いる場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)により、(a)ホールに近づかず、(b)その障害を避けられる、(c)ハザードの中でもグリーン上でもない場所で、球のある箇所にもっと近い地点(ニアレストポイント)をコース上に決定して、その地点から1クラブレンジ以内で、前記の3条件を満たすコース上の箇所に、球を拾い上げてドロップしなければならない。このローカルルールの違反は2打罰とする。

- 6、人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 7、クローズド(closed)の標示のあるカラーを含むグリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球がある場合や、スタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則25-1b(i)により、(a)ホールに近づかず、(b)その状態による障害を避けられる、(c)ハザードの中でもグリーンの上でもない場所で、球のある箇所にもっと近い地点をコース上に決定し、その地点から1クラブレンジ以内で、前記の3つの条件を満たすコース上の箇所に、罰なしにドロップしなければならない。このローカルルールの違反は2打罰とする。
- 8、樹木保護のための巻物施設(巻網等)は樹木の一部とみなす。
- 9、コース内の黄黒の縞杭は本競技には適用しない。なお、杭は動かさない障害物とする。
- 10、固定スプリングラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済はゴルフ規則24-2により受けることができる。その他にも、球がグリーン外のハザード内でないところにある場合で、そのような障害物(スプリングラーヘッド)が(イ)グリーン上か、またはグリーンから2クラブレンジ以内にあり、(ロ)球からも2クラブレンジの範囲内で、しかも(ハ)球とホールの間のプレーの線上にかかっているときは、競技者は次のような救済を受けることができる。その球を拾い上げて、(a)ホールに近づかずに、(b)そのような障害を避けられる、(c)ハザード内でもグリーン上でもない場所で、球のあった箇所にもっと近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球はふくことができる。このローカルルールの違反は2打罰とする。
- 11、7番ホールから右の白杭の右側に入った球、8番ホールから右の白杭の右側に入った球はOBとする。
- 12、18番ホール左側(東5番のティーインググラウンド脇の)修理地に入ったボールは、ドロップエリアからプレーすることができる。

注意事項

- 1、競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、所定の場所を設け、そこに告示する。(大会本部・アピアー受付及び出入り口付近)
- 2、打球練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1籠を限度とする。施設の関係上170ヤードを超える打球練習を禁止する。
- 3、スコアカードには同伴競技者全員のスコアを記入すること。
- 4、プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。本大会はタイムチェックを行い、プレーの不当な遅延については、ペナルティを課す。
- 5、パー3のホールでは、競技進行上指示により、マークして後続組を先に打たせることがある。
- 6、プレーオフの準備等のため、ラウンド途中で競技委員が、各選手にスコアを尋ねる場合がある。
- 7、9ホール終了後、食事時間を原則として40分間とする(遅れている場合は30分に短縮の場合もある)。
- 8、スタート時間10分前には、必ずティーグラウンド周辺に待機していること。
- 9、ルールブック(2012年度版)、目土袋、及びスコップは学校名・氏名を明記し、競技開始から終了まで必ず持参すること。途中で紛失した者及び目土を怠って注意を受けたものには、顧問と選手の連名による始末書の提出かペナルティを与えることがある。
- 10、グリーンに著しく損傷を与えるシューズは、使用禁止とすることがある。

義務事項

- 1、距離を測定する道具・携帯電話等はラウンド中の携帯を禁ずる。
- 2、服装は、日本高等学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定に準じる。従わない場合は、大会に参加させない。
- 3、高校生として、スポーツマンとして、好ましからぬ言動を厳に慎むこと。
- 4、プレー中の私語は特に慎むこと。
- 5、茶髪・長髪・パーマメント等、高校生の品位を疑うようなヘアースタイルでの試合参加は厳に慎むこと。
- 6、ネックレス・ピアス等装飾品は大会参加には不必要なものであり、これらの所持については厳に慎むこと。

以上 義務事項を遵守できない場合には、高等学校ゴルフ連盟による厳重な指導が行われる。

※ラウンド中は常にこの用紙を携帯すること。